



日本遺産
桃太郎伝説

映像の力で郷土の誇りを次の世代へ伝えたい

6月12日（日） 上映会



造山古墳のボランティアガイドに長年取り組んできた「造山古墳蘇生会」は、クラウドファンディングで資金を募り、“郷土の誇り”造山古墳の魅力をわかりやすく伝えるためのアニメーション作品『つくりやマン 造山古墳のひみつ』を制作しました。この作品を収録したDVD95枚が岡山市へ寄贈されました。岡山シティミュージアムではこの作品の完成を記念し、上映会を開催します。造山古墳蘇生会の会長 定廣好和さんと脚本・編集を担当した映像ディレクターの横山千秋さんのトークショーも予定しています。

<第103回ミュージアム講座>

日時：令和4年（2022年）6月12日（日）

開場 13:30 開演 14:00 終了予定 15:30

会場：岡山シティミュージアム4階講義室

参加無料 定員40名（先着順）

*事前の電話による申し込みが必要です（5月24日（火）10:00受付開始）。

主催：岡山シティミュージアム

（問い合わせ先）

岡山シティミュージアム JR岡山駅と東西連絡通路で直結

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1 リットシティビル南棟4・5階

TEL:086-898-3000 FAX:086-898-3003

<https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

<上映作品の紹介>

「つくりやマン 造山古墳のひみつ」



この作品は造山古墳蘇生会が地域密着型クラウドファンディング「#晴れ！フレ！岡山」で実施したプロジェクト「PR映像制作により、造山古墳の歴史とロマンを後世に！」によって令和4（2022）年3月に制作されました。4月14日には、岡山市へこの作品を収録したDVD95枚が寄贈されました。

蘇生会では、小学校の郷土学習などの機会にこの作品が活用され、将来の岡山市を担う子供たちが郷土の歴史を理解するための手助けになればという願いを込めてこの作品を制作したということです。

造山古墳に埋葬された王の魂が乗り移ったキャラクター“つくりやマン”と一緒に男の子・女の子が古墳時代にタイムトラベルするストーリーを通して、巨大古墳が造られた背景や築き方、葺石集めや埴輪作り、石棺の輸送方法、古墳造りに参加した地域の人々の思いなどをわかりやすく解説しています。

15分とコンパクトな作品ですが、アニメという子供たちが親しみやすい手法を使い、造山古墳の魅力を余すところなく多角的に伝えています。

企画・制作 造山古墳蘇生会
監修 草原孝典（岡山市教育委員会）
声の出演 中村恵美、安井優子、渡辺明子、坂本大輔
脚本・編集 横山千秋
資料提供 岡山市教育委員会
制作協力 RSK プロビジョン
協力 READYFOUR、山陽新聞社、中国銀行
長さ 15分
完成 令和4（2022）年3月